

第34回保存する会総会のご案内

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会第34回総会
記念講演会

戦後76年ぶり、
土砂に埋もれていた！

「豊田製鋼（現愛知製鋼） 疎開工場の再発見!!」 山田富久さん

山田富久さん(名古屋市在住)
濃尾・各務原地名文化研究会事務局長。
愛知県・岐阜県を中心に地質時代も含めて広く
遺跡・遺構を精力的に調査されています。

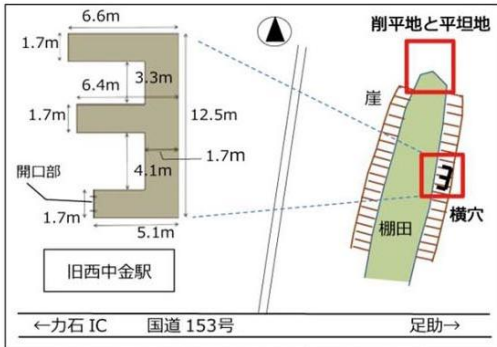


図 工場疎開跡の位置と横穴（概略図）



日時 8月2日(土) 13:30～16:00
(併せて総会を行います)

会場 瀬戸市文化センター
12会議室 参加費 無料

会員でもある山田富久さんたちが2021年5月、
豊田市にある愛知製鋼（旧豊田製鋼）の疎開工場跡
を地元の方の証言に基づき、現場を発掘したところ、
当時の疎開工場の一部が姿を現しました。現地
は花崗岩の風化したような地質とは言え、76年間、
眠っていた「戦争遺跡」の発見は大変有意義なもの
です。

付近には当時のトロッキの軌道跡らしい場所や、豊
田製鋼の疎開工場の敷地のような平坦な場所もあり
ます。なお、図は豊田市郷土資料館のホームペ
ージの山田さんの寄稿文より引用しました。



瀬戸地下
軍需工場
跡を保存
する会

会報

NO.187

2025年
7月10日

瀬戸市追分町64-1

瀬戸市職労組事務所

0561-84-4760

fax 84-4767

郵便振替口座番号

00820-9-105120

連絡先

事務局

寺脇

0572-23-5899

fax 同上

携帯

090-6575-4370

Eメール

tera-m@ob.aitai.ne.jp



講師の山田さん関連の記事
が3ページにあります。ご参
照ください。

2025年7月9日現在 +0-1
会員 157名

豊明市
ゆたか福祉会労働組合
3000円

名古屋市長
高橋 信さん
山田富久さん
古橋和佳さん
松本八重子さん
2000円
2000円
2000円
2000円
2000円

宇佐見美智代さん
細江弘平さん
土屋鋼平さん
松原恵子さん
横山文代さん
鈴木 守さん
堀 秀夫さん
岡田守弘さん
増田孝喜さん
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円
1000円

瀬戸市
加藤敏晴・典子さん
1000円

ありがとうございます
ございました！
2025年度
会費およびカンパを頂いた方

戦後80年 夏のイベントご案内

「ピースフェスティバル in せと2025」の予定

ピースフェスティバル in せと2025 第4回戦争体験を語り継ぐ会

● 講演

平和のためにほんとうに必要なもの？

「愛知の軍需産業」

矢野創さん（愛知県平和委員会事務局長）



日時 7月26日（土）

13時30分～16時00分

会場 瀬戸市文化センター12会議室

参加費 300円（大学生以下は無料）

アメリカの求められるがまま、軍拡につきすすむ日本の政治。財源議論のないまますすむ行く末には軍事増税が待っています。そしてこの大軍拡の中心に愛知県の軍需産業があり、戦争がはじまれば私たちの地域は標的となりかねません。「税金は軍事費ではなく くらしへ」「軍拡をやめて平和の準備を」の声を大きくするときです!!



第5回 8月23日（土）

13:30～16:00 文化センター12会議室

在日コリアン 金景愛？さんのお話

※8月23日（土）24日（日）瀬戸蔵

ピースステージ「森は生きている」

※美術展

8月23日文化センター

ター

※人間と原爆展 や

すらぎ会館 8月2

日～15日

※パルティセト 8

月8日～20日 原爆

高校生の絵

2025 「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうに」（日本国憲法前文）

あいち・平和のための戦争展

とき 8月14日（木）～17日（日） 10:00～17:00
HP: sensoten.net

ところ 市民ギャラリー矢田（パナテリンドーム北側）4階受付
（地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車 1番出口を南へ徒歩5分）

入場料 一般 500円 高校生以下、障がい者（介助者含む）（無料）

2025年ピースステージ 東文化小劇場			
8/14（木）	8/15（金）	8/16（土）	8/17（日）
● 10:30～12:00 映画上映 「声よ集まれ」 （多文化ネット・クミヨ） 朝鮮学校を応援する日本の市民たちを映し出すドキュメンタリー 【有料企画】	● 10:00～11:30 講演「南京大虐殺」 （ノーマン南京名古屋の会） ● 12:00～12:30 「埋もれた戦争、捕虜収容所」 CC ネット東名 （捕虜収容所跡を残す会）	● 10:00～12:00 講演 「ノーベル平和賞から核廃絶」 金本弘さん（被爆者）、大村義則さん（被爆2世） 原爆を許すまじの合唱 （平和を語る八月名古屋集会）	● 10:00～12:30 高校生と考える 「教科書から消された南京大虐殺」 笠原十九司さん ● 12:40～13:30 イラク戦争から22年、復興とその道のり ～イラク人医師からお話を聞きます（セイブ・イラクドクトルレン・名古屋）
● 13:00～14:30 「憲法9条は戦没者の遺言～満州引揚者とフィリピン戦線の体験を聞く～」 （平和遺族会）	● 13:00～14:00 演奏 「オカリナで平和を奏でる」 （オカリナ大地）	● 13:00～15:00 講演「戦争をしないため、知っておきたいこと～戦争を回避する～」 須田佐世さん（弁護士、新外交イニシアティブ代表）	● 14:15～16:00 映画上映 「しかみつき、燃え続ける」（名古屋を消す） 名古屋空襲をB29搭乗員の記録から探る解説：西形久司（ピースあいち）
● 15:30～16:30 「戦争と仏教」 （大東仁さん、興宗大谷派圓光寺住職）	● 15:00～16:30 講演「今も日本政府が認めない731部隊の真実」 奈須重雄さん（731研究者）（日中友好協会） 【有料企画】	● 15:40～16:40 戦争のこと知りたい！ 女性が語る戦争体験 ～「慰安婦」、満州からの引き揚げ、名古屋空襲、被爆体験…（日本軍「慰安婦」問題解決する会・愛知）	

みなさんの参加をお待ちしています。

※有料企画は、戦争展入場料以外に500円がかかります

今年の展示紹介

「名古屋に捕虜収容所があった！」

戦争は、敵味方関係なく尊い生命を奪い、多くの犠牲をもたらします。捕虜収容所の遺構を残す活動を通して、戦争の記憶を伝え平和の大切さを考えます。

「再び戦争と暗黒政治を許さない」

治安維持法制定から100年。戦争と弾圧は一体であることを資料を基に展示します。

「県内現存の奉安殿・奉安庫・奉揚所」

軍国主義の象徴とされた、御真影奉安殿・奉安庫・奉揚所とはどんなものなのでしょうか。それらは現在どこに、どれほど存在しているのでしょうか。写真と資料で紹介します。

報告

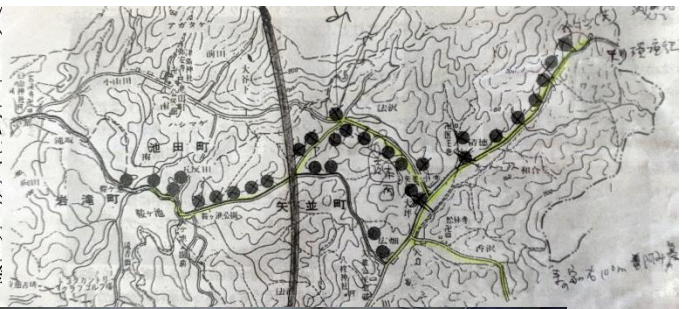
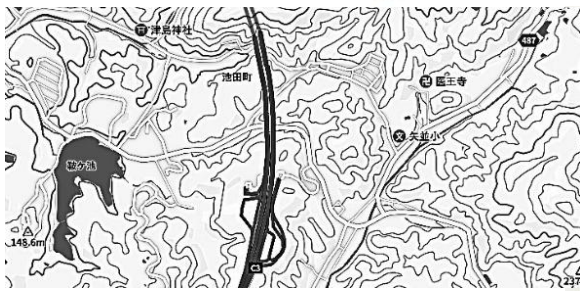
名古屋兵器補給廠矢並分廠の弾薬箱

弾薬箱を寄贈していただいた森月さん（左）と山田さん（右）・豊田市矢並町広畑で



5月30日、会員でもある名古屋市内在住の山田富久さんが、豊田市矢並町で発見された弾薬箱4点を愛知県名古屋戦争資料館（大津橋）に寄贈しました。
寄贈されたのは矢並町広畑にお住いの森月昭さんです。山田さんは、八並分廠の地図（下図）をたよりに、当地を探索され、当時のことをご存じな方から、分廠（火薬庫）の位置を特定されるなど精力的に調査されていきました。その中で森月さん宅に当時使われていた弾薬箱4点を発見され、森月さんから寄贈していただき、大津橋にある愛知県名古屋戦争資料館に寄贈するに至ったわけです。（寺脇）

矢並分廠の位置を表す地図（右）と現在の地図（左）

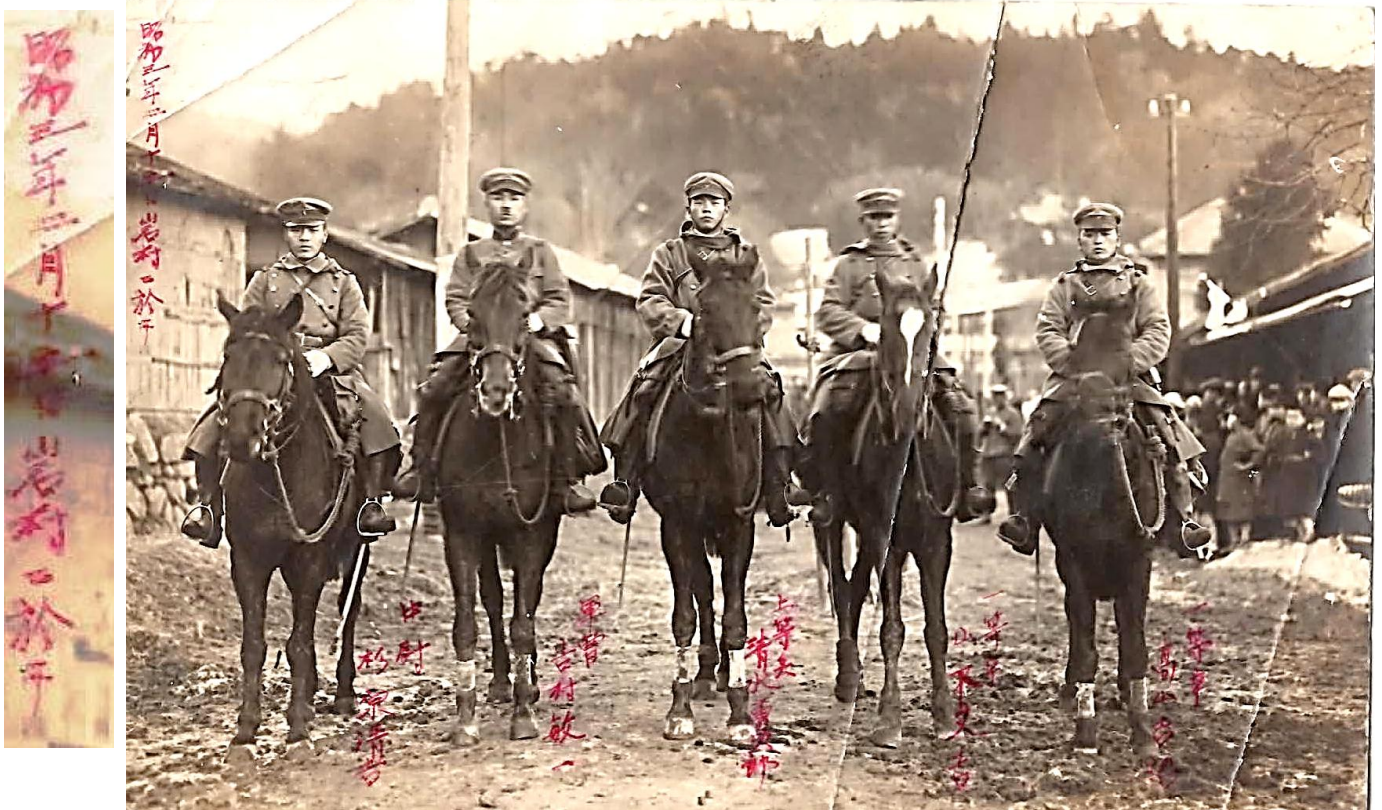


ふたつきのもの（右）や重ねやすく細工されたもの（左）も



付近には火薬庫跡（地下壕）と推定される陥没穴など数か所が見られる。

一枚の写真から読み解く戦争の時代



中尉
杉原清吉

軍曹
吉村敏一

上等兵
清水勇次郎

一等卒
山下又吉

一等卒
高山吉治

聖霊中学校生保護者の方から頂いた写真（P12参照）について考察を加えて掲載させていただきます。

頂いた数枚の写真はその方の曾祖父にあたる方で上の写真の左から2番目の軍曹「吉村敏一」さんです。

この写真からも分かるように、赤字で書かれた文字は大変精細でにじみもありませんが、私の裸眼では解読が困難なものです。最近の市販されているペンでもこのような細かな文字は書けそうにもありません。拡大してみると、左上部には、

「昭和三年二月一三日 岩村二於千」とあります。現在の恵那市岩村であろうと思われる人物は左から「中尉 杉原清吉」「軍曹 吉村敏一」「上等兵 清水勇次郎」「一等卒 山下又吉」「一等卒 高山吉治」と読めます。後ろには鉄筋の2から3階建ての建物があり、右側には一般の見学人らしき人たちがいます。

左の写真（日付・場所不明）には吉村軍曹らしき方が前列の兵隊に軽機関銃の訓練をしているような写真もありました。（寺脇）

「被爆体験伝承者 船津晶子さん」⑥

光男さんが一番言いたかったのは、生き残った19名の友達の中の三分の一ぐらいお子さんがいらっしやらない。子どもができないということについて自分が放射線を受けて染色体がこのような傷つけられたから、子どもができないんじゃないか、と思っられる。お医者さんに聞いてみたら、

2023年6月29日瀬戸市文化センターで、保存する会主催で広島から被爆体験伝承者の船津さんのお話をお伺いしました。その内容を掲載しています。今回は6回目、最終です。

前号から



「それは高熱が出たから」といろいろ言われるので確かなことは分かりませんが、当事者としては自分がこういう体にならないければ子どもができたかも知れないのになというのがあり、自分のような体を持った、こういう染色体を持った人を次世代に作ってはならないというのが一番言いたかったこと。

原子爆弾というのは放射線、放射物質を出すことで体を痛めるわけですよ。だったから2011年に3.11がありました。そのあとで私たちミーティングをしたんです。被爆者の話を聞いて、どの人の話を引き継ぎますかというときに、児玉光男さんは原爆放射線の怖さの話をされていましたが、「原発もだめだよ」とはつきりおっしゃっていたんです。同じ、閉じ込めていないと人体に危害を加えることは、原発も原発も、元の仕組みは同じものだから、どつちもなくしないとだめなんだとおっしゃっていたんです。だからそこは、私は被爆者の中で、そういう放射線の怖さを言われる方は少なかったんです。だから勉強熱心で気持ちも若い方でパソコンも使いこなしていた方なんで、私は話を聞き継ぐこ

とは難しいかもしれないけれど、彼のミーティングに参加して、できるだけ話をして引き継ぎたいと思ったんです。

最終的には核と人類は共存できないんだということを言いたいと思います。そして自分が助けることができなかった旧友のこと、語りたくても語れない者の代わりに自分は言わないといけない、背中後ろに背負っているいろいろな思いがあるから、それを語りたいと最後に最後まで話して続けていらっしやいました。慰霊祭の近くでした7月の終わりに慰霊祭があるんですが体調が悪くて車いすで参加されたんですが、その日の夜に熱が上がって入院されて、そこから退院することができなくて、その年の秋にお亡くなりになりました。

その年の慰霊祭に入院したら出られないということがあったみたいで、そこまで頑張られました。ここまでで児玉光男さんのお話は終わります。

―後略・おわり―

核人類と共存できない

戦争体験を語り継ぐ会2025 第2回・第3回



第2回戦争体験を語り継ぐ会は5月24日
瀬戸市文化センターで保存する会主催で行
いました。講師は各務ヶ原市在住で郷土史
家の福手一義さんに「米軍資料からみる熱
田空襲」と題してお話していただきました。
各務ヶ原市で空襲の被害にあった柱など貴

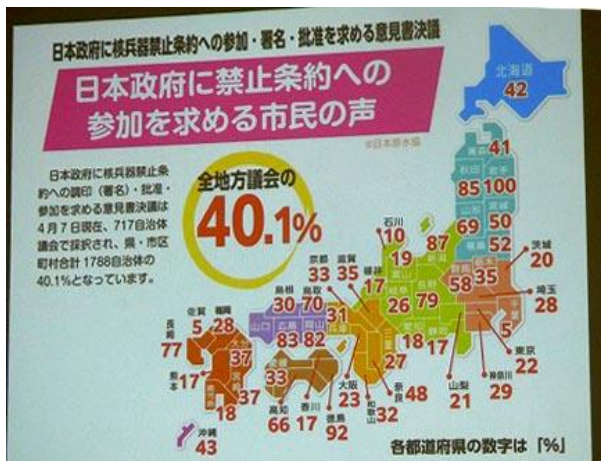
重な資料を見せていただきました。鈴木守
にはご自身で制作された250kgの模型な
どを展示していただきました。
6月28日は第3回として被爆2世の大村義
則さんに被団協がノーベル平和賞を受賞し
た意味についてお話していただきました。



②政府の「受忍論」の問題

- ◆政府の原爆被爆者対策基本問題懇談会答申で
国家補償を拒否 1980年12月11日
「およそ戦争という国の存亡をかけたの非常事態のもと
においては、国民がその生命・身体・財産等について、その
戦争によって何らかの犠牲を余儀なくされたとしても…
「一般の犠牲」として、すべての国民がひとしく受忍しな
ければならない」
- ◆答申の2年前、最高裁は「戦争という国の行為によって」
原爆被害がもたらされたとの国の責任を認め、被爆者援護を
国家補償として位置づけていた。
- ◆日本政府はサンフランシスコ講和条約によって、賠償請求
権を放棄した。したがって、日本政府が補償を行わなけれ
ばならない。

社会保障…病気や失業などの状況に対して国などの
公で対応する
国家補償…国家の活動によって国民に対し生じた損
失を国が補償する（原因は国である）
軍人恩給、旧優生保護法



2. 日本被団協が受賞した意味

①核のタブーを築いた功績(過去)

広島・長崎の被爆者による草の根運動である日本被団協が、核兵器のない世界の実現に向けた努力、特に核兵器が二度と使われてはならない理由を身をもって立証してきた功績により、2024年のノーベル平和賞を受賞することになりました。

◆アルフレッド・ノーベルの思い
1895年、亡くなる前年に自分の遺産についてコメントを残している。遺産(94%)の5分の1について。一つは、国と国との友好に寄与・促進すること、二つに、常備軍の廃止に寄与し、平和の会議の確立に、最善の努力をしたところに。

今回の受賞は、人類のために最善を尽くすことに生涯を捧げてきた人々を表彰したいというアルフレッド・ノーベルの思いにかなったものです。

みなさん、どう思われますか？ ⑬

～瀬戸市議の回答は26分の2、それも0回答～

事務局会では昨年来、市内にある戦争遺跡保存に対する「考え」を①行政(市長、)②市内各種団体長(瀬戸市教育委員会教育長・瀬戸市小中学校社会科研究会会長、瀬戸市教員組合組合長・瀬戸市教職員労働組合執行委員長)③瀬戸市議会議員に質問状を送付しました。

なお、②③については市長の回答に対

する考えをお聞きました。結果は②の回答は4名中3名、回答がなかったのは、瀬戸市教員組合組合長で③の瀬戸市議の場合は回答が26名中2名(日本共産党瀬戸市議団)のみで、それも内容をみると「0回答」です。

これまでの経緯をふまえ、回答内容と、無回答に対する、みなさまのご意見をお待ちしております。(寺脇)

これまでの経緯

- 2006 年 愛知県史別冊で愛知県下の戦争遺跡を番号付け(瀬戸地は 96 番～101 番)
- 2023 年 11 月 愛知県県民文化局文化財文化芸術課文化財室長名による愛知県各市区町村に対する戦争遺跡調査依頼
- 2024 年 2 月 瀬戸市文化課による調査報告を愛知県に提出。番号 97(梵鐘代替品以外は現地調査を行わず報告。番号 98～101 の防空壕は「不明」と報告、
- 2024 年 10 月 24 日 保存する会代表梅野敏基名で瀬戸市長に対して上記の調査結果内容、戦争遺跡の保存・継承に向けての瀬戸市の方針に対する質問状を提出(プロモーション課、文化課)
- 2024 年 11 月 17 日 瀬戸市長名での回答
- 2025 年 2 月 1 日 市長の回答を受け、瀬戸市内主要団体長 4 名に対して見解の質問状郵送にて提出
- 2025 年 2 月 瀬戸市教育委員会教育長・瀬戸市小中学校社会科研究会会長、瀬戸市教職員労働組合執行委員長から回答を得る。
- 2025 年 4 月 22 日 瀬戸市議会事務局に議員あての質問状を提出。
- 2025 年 6 月 4 日 日本共産党瀬戸市議団からのメール授受

瀬戸市長名での回答

(戦跡保存・継承に関するもののみ抜粋)

番号 96(愛知航空機(株)瀬戸工場)

国や愛知県と協議を行い検討していくものと考えております。

番号 97(法雲寺の梵鐘代替品)

平成 9 年瀬戸市指定有形文化財(歴史資料)となって以降市文化財保護条例による保存対象でありますので、所有者様とともに瀬戸市はその保存・継承について今後とも尽力してまいります。

番号 98～101(防空壕)

陥没等の危険性があり、土地所有者様が希望する場合は維持管理課が閉塞等の対策をいたしますが、存置する場合は土地所有者の管理と考えております。

瀬戸市教育委員会教育長 加藤正彦様 2月7日付

瀬戸市内の戦争遺跡保存・継承に向けての瀬戸市の回答について、考えは一致しております。なお、遺跡につきましては、小学校の「副読本 新しいせと」や中学校の「副読本 瀬戸」に掲載されております。

瀬戸市小中学校社会科研究会会長 加藤篤様 2月7日

「瀬戸市内の戦争遺跡の保存・継承に向けての瀬戸市の回答についてのご意見」を、とのことですが、瀬戸市小中学校社会科研究会は、社会科に興味関心のある教員が集まり、授業方法の検討や地域資料の発掘および授業への活用方法などを主たる活動としている自主的な会でございますので、貴会と瀬戸市のやりとりについては口を差し挟む立場にはございません。よって本件の意見につきましては差し控えさせていただきます。

瀬戸市教職員労働組合執行委員長 小林友子様 2月12日付

瀬戸市地下軍需工場跡を保存する会が瀬戸市に対して要請した内容についての市当局の回答があまりにも消極的であり残念でなりません。今年は、戦後80年の節目の年、「昭和100年」ともいわれ、平和に関する様々な企画が展開されるでしょう。「戦争遺跡を保存する会」をはじめとする諸団体の協力のもと、戦争遺跡の保存や戦争の記録の掘り起し、継承の取組を瀬戸市の施策に組入れることを強く要望します。

市議会議員26名に送った質問文

4月22日 市議会事務局に提出(一部抜粋)

戦争遺跡の保存・継承に向けての見解について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は瀬戸市民のために格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

私どもの会は1990年に瀬戸市水野地区にある貴重な戦争遺跡である愛知航空機瀬戸疎開工場跡地の保存と管理、そして現地見学等を通して市民の皆様はその存在をお知らせする活動を行ってまいりました。その35年の間に、社会科だけでなく、ゆとり教育や総合学習において、瀬戸市内の小中高校の学習における教材として広く活用していただきました。

また昨今、世界では多くの戦争や争いなど国家の主権や住民の人権をも無視した行為は自ずと平和への関心を子どもたちにも深め、より一層、戦争遺跡のもつ存在意義を高めるものとなりました。

しかし、昨今、ゆとり教育の見直しや英語教育、情報教育等の導入により、総合学習だけでなく社会科教育の根幹の一つである地域学習の重要性が置き去りにされ、教材としての地下工場跡地が瀬戸市内の小中学校から忘れ去られようとしています。

愛知県は一昨年11月に県下に現存する戦争遺跡調査を県内各自治体担当者に向けて調査依頼を実施し、その上で、現地調査などを行い、県の文化財への指定や登録を促すなど、適切な保存方法の検討を進めることにしています。

このように戦争遺跡に対する歴史的・文化的価値に再び光を当てていただいたことは、私ども戦跡保存運動に関わる者にとって大きな力を与えていただくものです。

会では昨年、瀬戸市長あてに県からの指示にたいする市の調査結果の報告と戦争遺跡保存継承に対する市の方針について、質問書を提出し、別紙のように回答をいただきました。

つきましては、以下の点に関してのご見解を賜りたくご依頼申し上げます。定例議会前のお忙しいときに誠に恐縮ではございますが、5月末日までに文書にて、ご回答いただきたく申し入れます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

瀬戸市内の戦争遺跡の保存・継承に向けての瀬戸市の回答（別紙）についての御見解

議員から届いた唯一のメール

日本共産党瀬戸市議団からのメール（6月4日受け 波線は事務局で）

連日の活動に心から敬意を表します。

戦後80年を迎え、戦争体験者の高齢化が進み、悲惨な体験をいかに後世に継承していくかが課題となっています。また、2015年の安保法制の成立、2022年の敵基地攻撃を明記した安保3文書の閣議決定、8兆7千億円にも上る2025年予算での防衛費など、戦争を二度としないと誓った憲法9条を骨抜きにし、戦争できる国づくりに向けた動きがいつそう強まる中で、戦争遺跡を史跡や文化財として保存し、平和のために「戦争」を語り継ぐ活動に生かす取り組みがますます重要となっています。戦争遺跡は、主に1894年開戦の日清戦争前後から1945年のアジア・太平洋戦争終結頃まで、旧日本軍の司令部跡や壕などの軍事施設や軍需工場の跡、戦争で被害を受けた建物などを指し、日本国内に約3万ヶ所あるといわれています。

「戦争遺跡保存全国ネットワーク」など各地の平和や歴史教育にかかわる団体などの保存を求める運動が広がっていますが、国と地方自治体によって保護されているのは約200カ所です。継承の弱まりや施設の老朽化、再開発などによって姿を消してしまう例も少なくありません。遺品の散逸も心配されています。日本の侵略を謀略戦の側面から明らかにする建物や資料の数々は平和を発信するうえで貴重な役割を果たしています。地域に残る戦争の傷痕をとどめ、戦争を繰り返さないための「財産」にしていく取り組みが大切です。そのためには戦争遺跡の歴史的背景や事実が正確に伝えられる必要があります。第2次大戦末期に建設された長野市の「松代大本営地下壕」の説明文で、朝鮮人労働者の動員について「強制的に」の文字がテープなどで隠されたことが問題になったことがありました。多数の朝鮮人労働者を強制的に連行した事実を隠すようなことは、戦争遺跡のもつ意味を損なうものです。自治体が設置した戦争資料館で、日本の加害責任の展示を後退させる動きがあることも見逃せません。埼玉県平和資料館では年表から「南京大虐殺」「慰安婦」などの記述がなくなりました。大阪府の「ピースおおさか」では、日本の中国侵略や朝鮮の植民地支配などの展示を変更・見直す方向が検討され、府民らから「加害の事実を隠してはならない」との声があがりました。日本の侵略と植民地支配がアジアの人たちに多大な被害をもたらした事実をゆがめることは、現在と未来にも目をつぶるものです。アジアや世界の国々との友好の発展のうえでも重大な妨げです。侵略戦争と植民地支配に無反省な自公政権が「戦争できる国」へ暴走するもと、戦争の実相を次代に継承することがいよいよ重要です。戦争体験者が高齢化で減少するなか、戦争の記憶をしっかりとどめ、二度と戦争を起こさない力にすることが求められます。

市の回答については、それぞれの事柄の背景や情報が私たちの側に十分ではないため、現状においては見解を述べることはできかねます。ご了承ください。

瀬戸市内の戦争遺跡6か所に対する瀬戸市の回答(P7)に関しては、詳細な知識は不要かと思います。

例えば番号96の疎開工場跡地保存について瀬戸市は「国や県と協議する」としか答えておらず、瀬戸市の立場を明確にはしていないのです。その点だけをとりても批判できるものと思いますが、如何に。 寺脇

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌

第20話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

「パナマ運河攻撃の研究」

米国の重工業の多くは5大湖周辺に位置し、この地域で生産される戦略物資は、東海岸からパナマ運河を経由し西海岸やハワイ、一部は直接太平洋の前線基地に輸送されていた。この補給路の要衝パナマ運河を叩くことは戦略物資供給の遅延のみならず、欧州戦線から太平洋戦線への戦力回航を遅延させるという戦略的な意味を持っていた。

昭和18年8月、藤森参謀と軍司令部山本第一課長は、熾烈な航空撃滅戦が展開されている南太平洋・ラバウル方面を視察し、質、量、共に圧倒的に優勢な米軍兵力を垣間見て、パナマ運河攻撃の必要性を痛感した。

帰国した藤森参謀は運河攻撃研究のため、秘密の特別班を編成し効果的な攻撃方法を模索した。運河の構造、建造方法、閘門の仕組み、地理、気候、警備などを調査し、イー400型潜水空母とM6A1攻撃機を用い最大の戦果を挙げるべく技術的な検討を行い次のような結論に至った。

1 攻撃機発進位置と攻撃目標

パナマ運河には太平洋側から「ミラ・フロレス・ロック」、「ペドロ・ミゲル・ロック」、「ガトゥーン・ロック」、の3大閘門がある。地形、構造から見て「ガトゥーン・ロック」は破壊された場合、ガトゥーン湖の貯水が流出し、復旧と貯水に半年は必要である。他閘門のは破壊されても復旧と貯水は1~2ヶ月で可能である。以上のことから、攻撃は乾期に大西洋側から発進し「ガトゥーン・ロック」を狙うのが効果大である。

2 攻撃方法

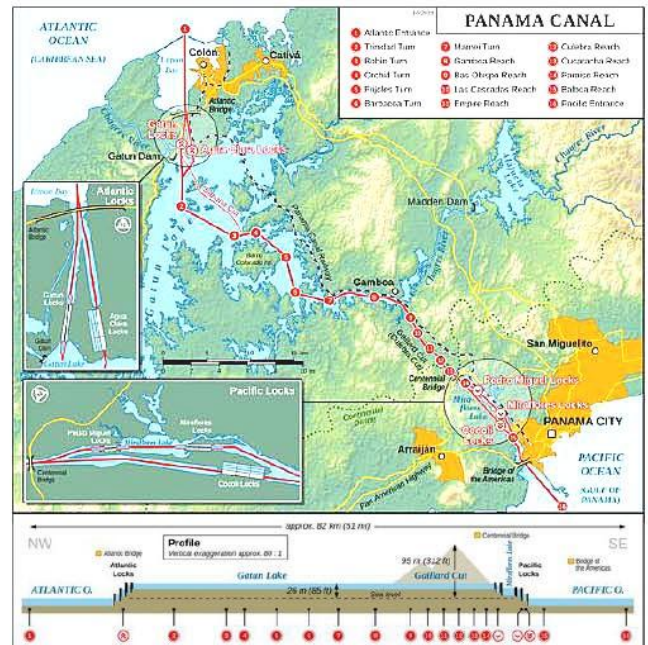
運河は複式閘門と周辺施設で構成されている。複式閘門を航空魚雷で破壊し、さらに周辺施設と併せて爆撃するのが効果的である。

3 攻撃時期など

潜水艦と攻撃機の完成及び潜水空母部隊の編成と練成時期に係わるが、現地の乾期を狙うと昭和20年1月か2月が妥当である。但し、攻撃の目標、方法、時期などはその時の戦況、状況に応じ第一線の指揮官が判断し決定する。

(参考文献:「幻の潜水空母」佐藤次男著)

次号へつづく

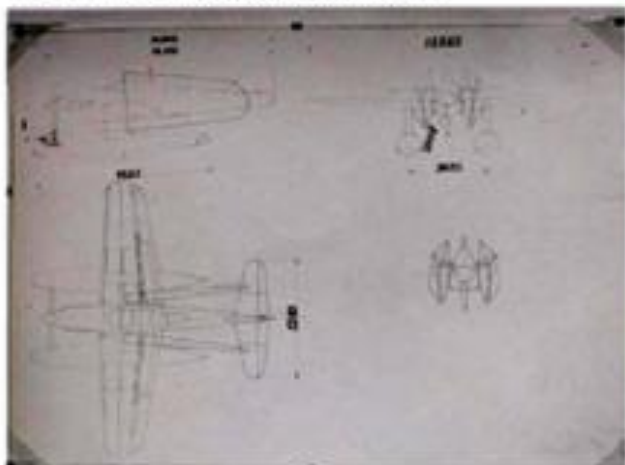


①パナマ運河構造図

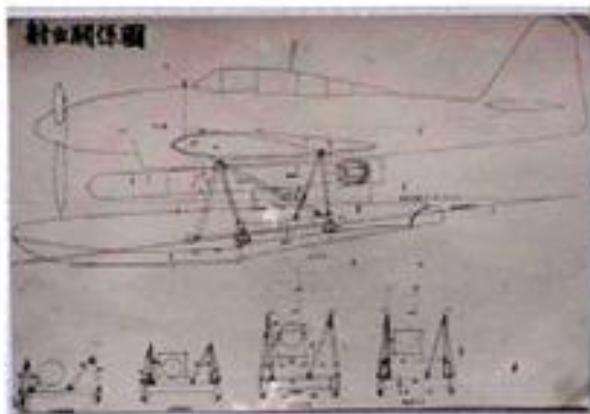
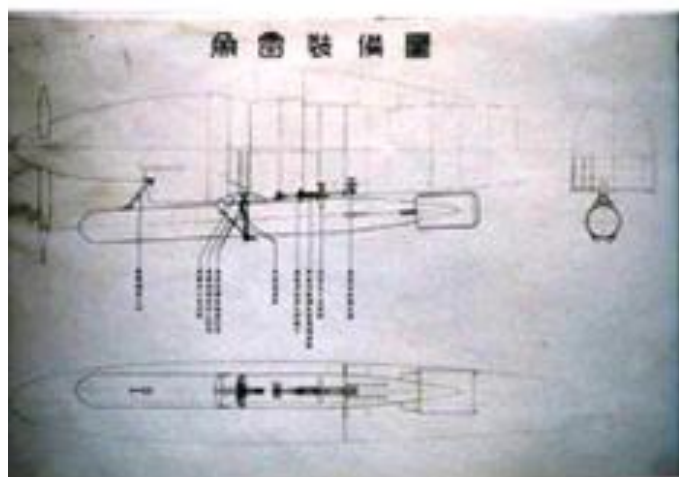
晴嵐(M6)機				
沿革 昭和19年5月10日調査				
名	称	数	重量	備考
爆	80番爆弾(九九式一試行通弾)	1	308	
	25番爆弾(九九式一試行通弾)	1	262	
	小型爆弾各種	2		
	一式一五号射撃照準器	1		雷撃機
雷	一式一五号射撃照準器	1		
	九九式小型爆弾投下器	2	4.8	
	九九式一五号射撃照準器(型改五)	1	17.1	
	九九式中型爆弾投下器	1		
雷	九九式魚雷改二	1	840	
撃	九九式大型爆弾投下器改一	1	60	
	一式一五号射撃照準器	1		
時	假称一式一五号射撃照準器			
撃	全弾 (300発)			
通	九九式一五号射撃照準器	1		
信	一式一五号射撃照準器(型改五)	1	25.5	

②M6A1 晴嵐・爆撃、雷撃兵装詳細

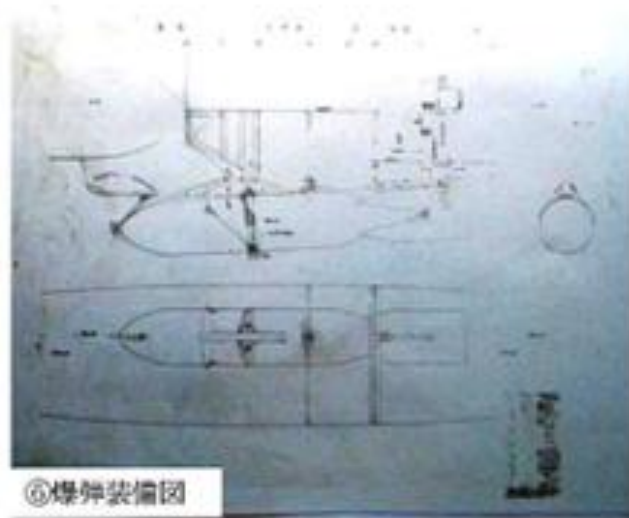
③折畳展張関係図、直径 3.5m の格納筒に格納する為、アツタ 32 発動機が選ばれた



⑤魚雷装備図



④射出関係図、プロペラと魚雷の位置関係に注意



⑥爆弾装備図



⑦28 号機胴体下面、懸吊架詳細、大型爆弾及び魚雷投下器

⑧中央左に魚雷爆発炎り抑え



⑨右側に魚雷深度測定器



みなさまからのメッセージ とインフォメーション

ありがとうございました！

寺脇さん、お返事ありがとうございます。

入力作業を行っている、自分が足を運んだことのある住所を度々目にします。この場所で空襲を受けて亡くなられたのかと思うと今日のウクライナやパレスチナの人々のことも頭をよぎり、戦争のない世界にしなければとの思いがわきました。

少々時間がかかるかもしれませんが、グループのみんなで引き続き入力に取り組めます。



聖霊中高見学会

6月21日（土）瀬戸市内にある聖霊中学校の生徒5名と保護者・教員の方たち7名が地下工場跡地の見学に来られました。梅雨の晴れ間の暑さの中、熱心に見学されていました。見学会終了後、昭和区在住の保護者のかたから、曾祖父と祖父の写真などの遺品があるのでご活用していただけるのなら寄贈しますという申し入れがあったので、喜んでご自宅に伺いました。4Pに頂いた貴重な写真の一部を掲載します。ありがとうございました。（寺脇）

空襲被害者名簿入力作業



6月25日（水）愛知大学で空襲被害者名簿（徴用・動員）のエクセル入力作業にご協力をしていただこうとお願いにあがりまして。上記のメールはそのときの学生さんから頂いたものです。（寺脇）

編集後記



7月20日に参議院選挙があるということですが、私が住んでいる多治見の団地では選挙カーの声も届いて来ず、きわめて静かな毎日を過ごしています。しかし、インターネット（とくにYouTube）を開いたりすると、とたんに勇ましい声が響きわたってきます。

2025年は戦後80年、昭和100年の年で、ちまたでは、いろいろなイベントがあるようですが、私どもの会では高齢化に加え、少数弱体化で、大きな行事を企てる力は持ち合わせていません。しかし今まで培った多くの情報やデータなどを書籍ではなくDVDに残すという計画がありますが、今年中にできるか心配です。

2025年7月9日（T）

お詫びと訂正

前号186号の中で鈴木守さんが作成された250kg爆弾の模型の説明文中、「熱田空襲で大量に投下され」という文言がありましたが、6月9日の愛知時計・愛知航空機に対する空襲の中で使用された爆弾は2t爆弾が121発、1t爆弾が23発（2019年さくら舎発行「日本大空爆」より）でした。誤記のお詫びと訂正をします。申し訳ありませんでした。

（事務局：寺脇）